

## GYROSCOPE



早下隆士

Takashi HAYASHITA

2020年度日本イオン交換学会会長

[所属]

上智大学理工学部物質生命理工学科  
教授

[略歴]

1980年 九州大学工学部卒業

1985年 同大学院工学研究科博士課程  
修了(工学博士)

1985年 神奈川大学工学部助手

1989年 米国テキサス工科大学博士  
研究員

1991年 佐賀大学理工学部助教授

1997年 東北大学大学院理学研究科  
助教授

2005年 上智大学理工学部教授

2010-2014年 上智大学理工学部長・  
研究科委員長2014-2017年 上智大学学長  
現在に至る

[主な専門分野]

分析化学, 超分子化学

[連絡先]

〒102-8554

東京都千代田区紀尾井町7-1

上智大学理工学部物質生命理工学科

E-mail: ta-hayas@sophia.ac.jp

## 「2021年に期待を込めて」

新しい年を迎え、会長としてご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス(COVID19)という、人類未知のウイルスの脅威に翻弄された2020年は、また、人類の英知を試された年でもあったように思っています。筆者自身を振り返ってみても、少人数のみに許可された学生実験、そのためのローテーションの工夫、手探りではじめたりリモート講義。前例のない事態にとまどいつつも、この状況から、気づくこと、学ぶことも、また、多くありました。そうして、この事態を好転させるアイデアの具体を提供することは、われわれ科学者の使命であると改めて思っています。

さて本年は昨年、中止、延期となったさまざまな行事が再開されます。昨年の7月開催予定の第33回イオン交換セミナー、10月開催予定の日本イオン交換学会・日本溶媒抽出学会連合年会(連合年会2021)は北九州で開催されます。お世話を頂く本会常任理事の吉塚先生は、本年度から日本溶媒抽出学会の会長に就任されたという嬉しい知らせも届いております。両学会が連携を更に深めることのできる会議になるよう、多くの会員の皆様のご参加をお願い致します。

イオン交換に関する国際会議には、英国を中心に西半球で行われる国際イオン交換会議(IEX)と、日本を中心に東半球で行われるイオン交換国際会議(ICIE)がありますが、それぞれの会議が重ならないように4年おきに開催されております。しかしながら昨年ロンドンで開催予定であったIEX2020は、2022年の9月開催に2年延期となっております。2022年は筆者が世話人となり上智大学でICIE2022を開催予定ですが、開催を4月にすることで大きなバッティングにはならないと判断致しました。その後、IEXの会議をこれまでのローテーションにあわせて2024年に開催することで、北京で開催予定のICIE2026との連携をはかることが国際委員会で確認されています。またICIEのプレ国際会議として、2021年12月に延期になったPacifiChem2021の中でシンポジウム「Innovation in Chemical Sensing and Separation Systems toward Advanced Chemical Analysis」をハワイで開催致します。

密を避けるという日々に、我々は改めて人と人が向き合い、談笑し忌憚なく話すという普通の状況が、如何に大切であるかを初めて認識しました。今後、新型コロナウイルスの猛威がどのように、いつ終息するか、残念ながら現時点では未知です。しかし、歴史を振り返ると、百年前のスペイン風邪、三度にわたるペストの流行にいずれも人類は勝利しています。本学会会報の2020年3号で平山副会長が述べられていたように、作家・吉川英治の言葉「朝の来ない夜はない」を信じて、希望をもってコロナ後の学会活動を活性化して行きたいと思えます。

産業界、官公庁、大学の技術者・研究者の皆様、ともに心一つにこの困難を乗り越えて行きましょう。